

レジメン名

GEM+nab-PAC

出典 **NEJM 2013;369:1691-703**  
**アブラキサン適正使用ガイドより引用**  
 2019.12作成版

**実施部署区分**

入院
  外来
  処置

対象疾患

**肺癌**  


---

 進行・再発  
 補助療法(術前・術後)

1コース期間 **28日**

総コース数 **制限なし**

(次のコースまでの標準期間)

\*6 ULN:(追加)基準値上限  
 \*7 原疾患に起因又は転移を有する場合は、各施設基準値上限の5倍まで許容する  
 \*8 アブラキサン投与の際に確認する項目です  
 注) 左記以外の事象が発現し、医師が必要と判断した場合は投与を延期してください。

**次コース開始基準(Day1)**

項目	次コース開始基準
好中球数 (/mm <sup>3</sup> )	≥1,500
血小板数 (/mm <sup>3</sup> )	≥100,000
AST(GOT)、ALT(GPT)	≤ULN* ×2.5倍*
発熱性好中球減少症	認めない
口腔粘膜炎 下痢	≤Grade 2 又は
末梢神経障害**	前コースで≥Grade 3が発現した場合: ≤Grade 1に回復後

**コース内投与基準(Day8,15)**

項目	コース内投与基準
好中球数 (/mm <sup>3</sup> )	>1,000**
血小板数 (/mm <sup>3</sup> )	≥50,000
発熱性好中球減少症	認めない
口腔粘膜炎 下痢	≤Grade 2 又は
末梢神経障害**	前コースで≥Grade 3が発現した場合: ≤Grade 1に回復後

\*1 添付文書では、Day 8、15において好中球数 500/mm<sup>3</sup>~1,000/mm<sup>3</sup>で投与可能となっています  
 好中球数 500/mm<sup>3</sup>~1,000/mm<sup>3</sup>で投与する場合は減量を考慮し、慎重に投与してください。  
 \*2 アブラキサン投与の際に確認する項目です  
 注) 左記以外の事象が発現し、医師が必要と判断した場合は投与をスキップしてください。

**減量基準(Day1)**

項目	減量の目安	次回投与時
好中球数	<500/mm <sup>3</sup> が7日以上継続	1段階減量
血小板数	<50,000/mm <sup>3</sup>	1段階減量
発熱性好中球減少症	発現(≥Grade3)	1段階減量
末梢神経障害	≥Grade3*	アブラキサンのみ1段階減量
皮膚	Grade2/3*	1段階減量
口腔粘膜炎 下痢	≥Grade3	1段階減量

**コース内投与量調整基準(Day8,15)**

項目	Day8	Day15
投与前血液検査	好中球数 >1,000/mm <sup>3</sup> かつ 血小板数 ≥75,000/mm <sup>3</sup>	①投与量変更なし ②1段階下げて投与 ③投与スキップ
血液検査の結果	好中球数 >1,000/mm <sup>3</sup> かつ 血小板数 ≥50,000/mm <sup>3</sup>	①投与量変更なし ②1段階下げて投与 ③投与スキップ
血液検査の結果	好中球数 >1,000/mm <sup>3</sup> かつ 血小板数 ≥50,000/mm <sup>3</sup>	①投与量変更なし ②1段階下げて投与 ③投与スキップ
血液検査の結果	好中球数 >1,000/mm <sup>3</sup> かつ 血小板数 ≥50,000/mm <sup>3</sup>	①投与量変更なし ②1段階下げて投与 ③投与スキップ

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ナブパクリタキセル(アブラキサン)	125mg/m <sup>2</sup>	生食適量	30分	day 1,8,15
ゲムシタビン	1000mg/m <sup>2</sup>	5%糖液100mL	30分	day 1,8,15

**1日投与順**  
 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、  
 溶解液まで含む)

day1、8、15  
 ①アロキシ0.75mgバッグ+デキサート6.6mg (15分)  
 ②アブラキサン125mg/m<sup>2</sup>+生食適量(30分)  
 インラインフィルターを使用しないこと  
 ③ゲムシタビン1000mg/m<sup>2</sup>+5%糖液100mL(30分)  
 ④生食50mL (全開で)

<CVポートから投与の場合>  
 day1、8、15  
 (メイン)  
 ①アロキシ0.75mgバッグ+デキサート6.6mg (15分)  
 ②ゲムシタビン1000mg/m<sup>2</sup>+5%糖液100mL(30分)  
 ③生食50mL (全開で)  
 (側管)  
 ① 生食50mL (ルート確保用)  
 ② アブラキサン125mg/m<sup>2</sup>+生食適量(30分)  
 インラインフィルターを使用しないこと  
 ③ 生食50mL (全開で)